関学スポーツ
THE KWANGAKU SPORTS

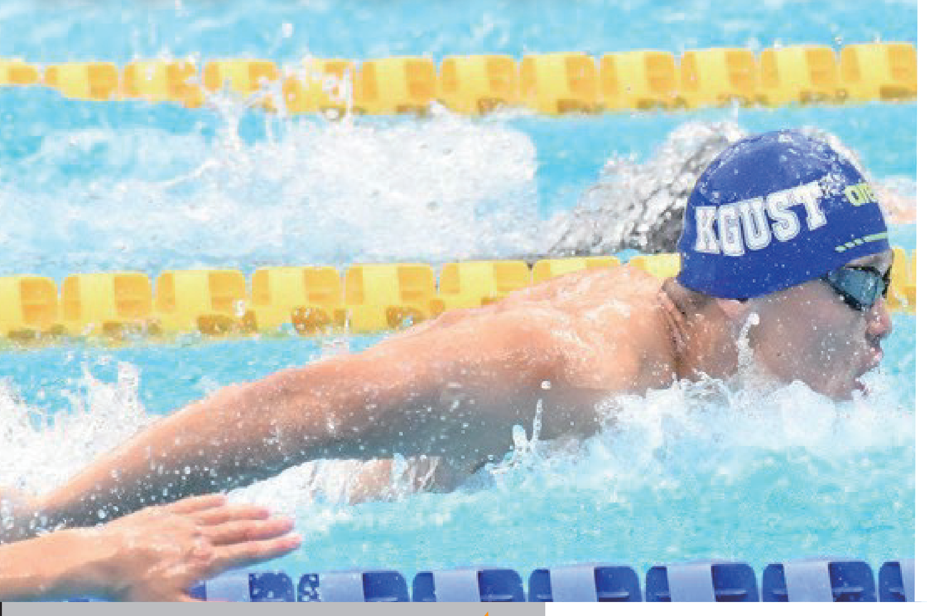
最強の3人が圧倒的な存在感を放ち頂点へ

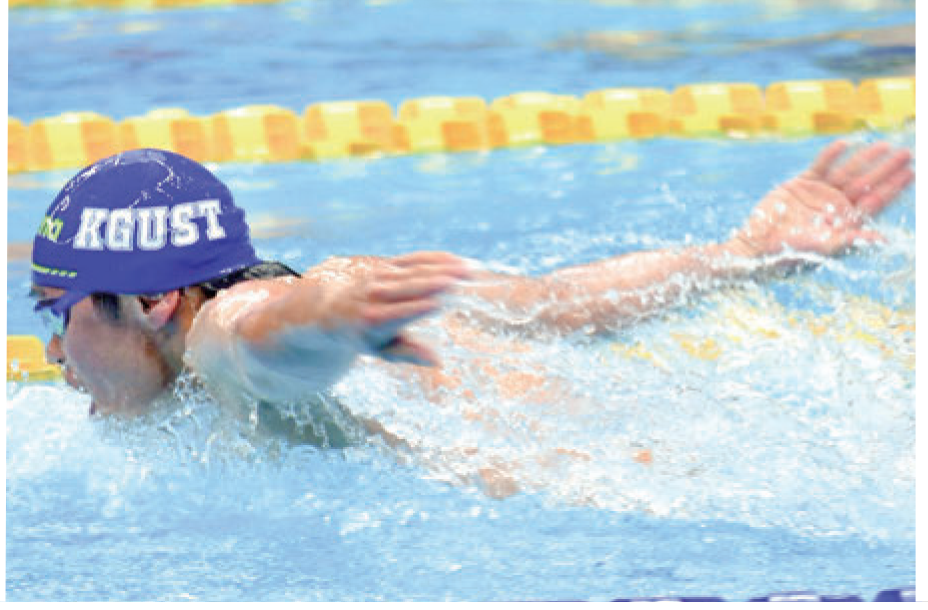
競泳 関学超煌

関西インカレにて表彰台独占

写真撮影に応じる選手たち【切り込み写真】左から鶴田、田中廉、伊東

仲間であり、ライバル「負けるわけにはいかない」





◆水上競技部競泳パート◆2026年度関西学生水泳選手権大会◆7月31日～8月2日◆於・Asue大阪プール

関西の上位3位に関学勢が君臨した。先月31日に開幕した関西インカレ。男子200㍍バタフライにて、田中廉太郎（法3）、鶴田健介（国2）、伊東克真（法1）の3人が表彰台を独占した。次に待ち受けるのは全日本インカレ。関西の頂点から、その先へ。まだ見ぬ景色を目指し、彼らは進化し続ける。

研鑽

表彰台独占―。互いに切磋琢磨しながら高め合ってきた3人が、最高の形でその成果を示した。関西インカレ男子200㍍バタフライ決勝にて、田中廉が1位、鶴田が2位、伊東が3位となる。関西の頂点を示す、圧巻の景色だった。「関学で表彰台を埋めることができてうれしい」。伊東は笑顔でレースを振り返った。

予選でも他を寄せつけぬ力強い泳ぎを見せた3人。圧倒的な強さを発揮して上位3位を占め、決勝に進出した。「先輩として負けるわけにはいかない」と意気込み決勝に臨んだ田中廉は、見事優勝を果たす。また、後半で勢いを上げられるようにするという課題を意識して日々の練習を重ねてきた鶴田。その努力が実を結び、決勝でのベスト更新へとつながった。

決戦

田中廉と伊藤は同じ桃山学院高競泳部出身だ。「とても信頼でき、頼もしい背中を見せてくれる先輩」。「期待しており、レース前により一層気合いを入れることができる後輩である」。2人は当時からともに練習に励み、刺激し合っていた。また、鶴田は「互いに意識しながら、勝ち負けにこだわってトレーニングしてきた」と話す。仲間であり、ライバル―。互いを知るからこそ、他人のことも、自分に足りないものも見えてくる。高め合える存在が、彼らをさらに強くした。

また、関学競泳部の印象について「学年関係なく仲が良く明るい。一方で切磋琢磨し、互いに支え合い補い合えるチーム」と3人は口をそろえる。仲間とのつながりが刺激となり、大きな活力になった。

次なる舞台は全日本インカレ。田中廉は100㍍、200㍍バタフライ、鶴田は200㍍バタフライ、伊東は400㍍自由形に出場する。「金メダルを獲ることはできたが、関東のタイムと比べると全然戦えない」と口にした田中廉。現状に満足せず、常に上を目指し続ける彼らは、これからも進化し続けるに違いない。さあ、まだ見ぬ景色を目指して、次なる戦いへ。歩みを止めない彼らの飛躍に刮目（かつもく）せよ。

（石坂香乃）

【レイアウト・宮田葵】

PLOFILE

田中廉太郎（たなか・れんたろう）

２００６年１月８日、大阪府生まれ、大阪府・桃山学院高出身、趣味はバイクでツーリングをすること。法学部３年、１６８㌢、６２㌔。

鶴田健介（つるた・けんすけ）

２００６年12月31日、兵庫県生まれ。兵庫県・尼崎高出身。趣味は音楽を聴くこと。国際学部２年。１６９㌢、６５㌔。

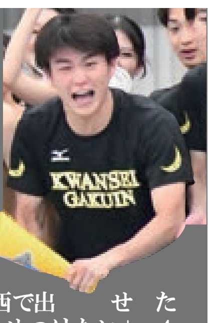
伊東克真（いとう・かつま）

２００７年７月24日、大阪府生まれ。大阪府・桃山学院高出身。趣味は自転車に乗ること。法学部１年。１７４㌢、６９㌔。

最後の全日本インカレに挑む

中谷（社４）は男子 50 ㍍自由形にて、準優勝を果たす。「３位を目標としていたため、とてもうれしい」と喜びをかみ締めた。大学で一人暮らしをはじめ、環境の変化もありなかなかタイムを伸ばすことができず、苦しんだ時期もある。そんな中でも常に上を目指し練習に励み、昨年の全日本インカレ、4×１００㍍フリーリレーでのＢ決勝進出に大きく貢献した。次に待ち受けるのは学生最後の全国の舞台。「楽しむことを第一に、悔いなく終われるようにしたい」と口にする。これまで積み重ねてきたすべてをぶつけ、圧倒的な存在感を刻み込め。

チーム丸山、集大成へ



１年間、関学競泳部を引っ張ってきた丸山碧斗主将（法４）。高校時にも主将を務めていたが、大学ではさらにレベルアップしたけん引力が求められる。部の雰囲気を保ち、高め合える環境づくりのために、日々の言動に意識し、部をまとめ上げてきた。「関西で出せた力を、全国で見せつけたい」。４年間のすべてを懸けた、チーム丸山最後の全日本インカレが始まる。

KG sports
Since 1961
(関学スポーツ)
特別号
体育会の本気を
本気で伝えています！
2026年 9月2日 水曜日
関西学院大学体育会
〒662-0891 兵庫県西宮市上ケ原1−1−155
☎0798(51)0181 ✉kg_sports@yahoo.co.jp
X フォローする @kgsports facebook いいね！ “関学スポーツ” instagram 始めました @kwangaku_sports
http://www.kwangaku-sports.com 発行人 森映見佳 編集人 前田桜奈

全日本選手権で8位入賞！

山本空（商２）は、6月に行われた日本選手権に出場。50 ㍍背泳ぎで、見事に８位入賞を果たす。目標だった決勝進出を達成し、彼の憧れていたステージに立つことができた。「競泳を続けていく限りは、この景色を一度で終わらせたくない」と再びこの舞台に戻ってくることを誓う。また、「夢はオリンピックに出ること」と力を込めた山本空。そして、全日本インカレではベストを更新し、B決勝以上に進出することを目標としている。関学のエースは、歩みを止めない。世界で戦う武器をさらに磨き、次なる舞台へと挑み続ける。

女子が1部昇格！

関西インカレにて、水上競技部競泳パート女子は、92 点を獲得し1位となり、１部昇格を果たした。特に、１００㍍バタフライの菅原（国１）、４００㍍自由形の高原（社１）が１位となり、大きく貢献。また、フリーリレーにおいても２位となり、昇格に値する強さを発揮した。菅原はバタフライ２種目で全日本インカレに出場する。全国での新星の活躍に目が離せない。

関西学院大学体育会
水上競技部競泳パート